

地球温暖化防止と再生可能エネルギー

地球温暖化、原発事故後のエネルギー問題に対して、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組みました。

1 再生可能エネルギーの普及



石油・石炭などの化石燃料は限りがあるエネルギー資源です。これに対し、**太陽光や風力、水力、バイオマス、地熱などのエネルギー源は、一度利用しても比較的短期間に再生産が可能で資源が枯渇しない「再生可能エネルギー（以下、再エネ）」**です。これらは発電時にCO₂を排出せず、化石燃料に代わるクリーンなエネルギーとして期待されています。

太陽光発電所を拡大

コープこうべグループでは、再エネの普及を目的に、兵庫県と大阪府に太陽光パネルを設置し、太陽光発電を推進してきました。2017年3月末現在、合計**18か所**（年間で一般家庭1,974軒分の発電量）の**太陽光発電所が稼働**しています。



水上発電所(兵庫県丹波市)

再エネ電力をコープの施設で利用

コープこうべは、2015年4月から(株)コープ環境サービスの太陽光発電や他社発電所の電力（いずれも再エネの電力）を調達し、コープこうべの施設に供給する取り組みを開始しています。

2016年4月からは再エネ電力の調達量を拡大し、**供給事業所は88施設にまで拡大**。2016年度の再エネ比率は**54%**（コープこうべが調達した全電力に占める再エネ電力の割合）。これは、日本の再エネ発電率12.2%を大きく上回ります。

再エネ電力を調達し自ら利用する取り組みを通じて、再エネのさらなる普及につなげていきます。

組合員への電力小売事業を開始

2016年4月、一般家庭への電力小売が自由化され、生協も組合員に電気を供給することが可能となりました。同時に、消費者は、価格やサービス内容、電源構成などの情報をもとに自分の好みに合った電力会社を選べるようになりました。

一方、将来のエネルギー問題や地球温暖化などの環境問題に不安を感じる消費者を中心に、太陽光、風力、バイオマスなどの再エネからつくった電気や、**より環境負荷の小さい電源からつくった電気を選択したいというニーズ**が高まっています。組合員を対象にしたアンケート調査でも、こうした選択肢の提供をコープこうべに期待する声を多数頂いています。

このような背景をうけ、コープこうべは、再エネ電力を含む「**コープでんき**」を組合員に供給する電力小売事業を**2017年4月に開始**。2017年1月よりコープこうべの宅配をご利用の組合員を中心にお申込み受付開始し、**3月末までに約13,500世帯**にご加入を頂きました。

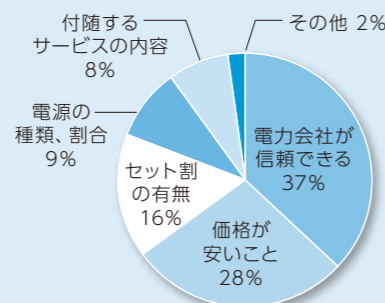


電力自由化に関する組合員アンケート

- コープこうべのインターネット会員(約10万件)を対象に、2016年3月にアンケート調査を実施(有効回答は1,995件)。
- 78%の組合員が電力会社の切り替えを検討。電力会社に求めるものは、信頼性と価格など。
- コープこうべに求めるものとして自由記述欄では、再エネ電力の供給への期待が多く寄せられました。



電力会社を選ぶとき、もっとも重要だと思うことを1つ選んでください。



組合員の声

コープこうべが再生可能エネルギーによる電力事業をおこなうのであれば、**すぐに乗り換えたい**。早く事業化してほしい。

再生可能エネルギーの発電を望みます。また、そんな発電でできた電気を購入したいです。

コープこうべで設置した**太陽光パネル**で発電した電気を、今はお店などで利用しているようですが、将来各家庭に供給できるようになった場合、切り替えを考えてもよい。

電源の種類に、今後もこだわり続けてほしい。

- ▶“電力会社が信頼できること”が電力会社を選ぶ基準の37%を占めている
- ▶価格やセット割の期待も高い

2 CO₂削減と省エネ

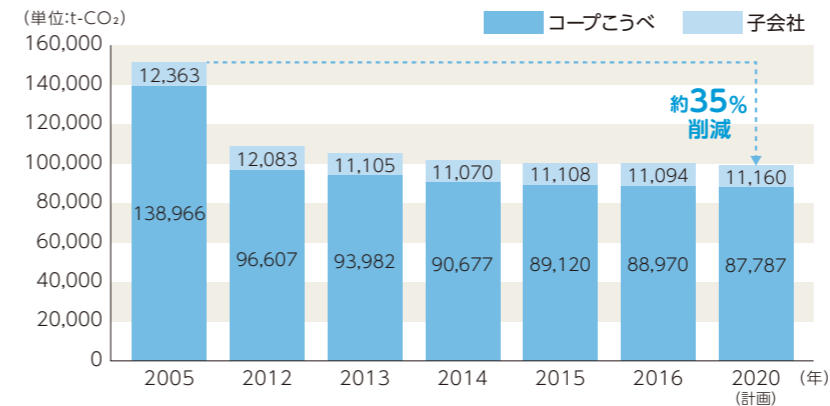


2020年までの長期的なCO₂削減計画

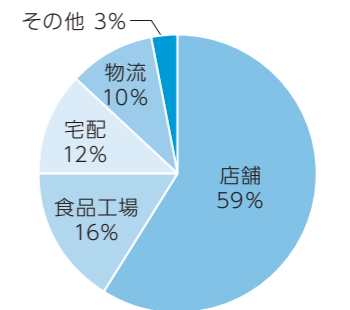
2020年までにCO₂排出量を約35%削減(2005年度対比)する長期計画のもと、計画的に設備更新をすすめています。最もCO₂排出量の多い店舗事業では、改装時にあわせ、冷蔵冷凍ケー

ス・空調機・照明などを順次省エネ対応機種へ入れ替えています。宅配事業では、訪問コースの効率化や商品のお届け間違い削減を通じ、走行距離・車両燃料の削減に努めています。

2020年までのCO₂排出見込量



事業所内のCO₂排出割合



改装した店舗(コープ西神)では省エネ機器を積極的に採用

ノンフロン冷媒の導入

冷蔵冷凍機器や空調機の冷媒に使用するフロンガスには、オゾン層を破壊する影響のある「指定フロン」と、温暖化影響がCO₂の数千倍ある「代替フロン」があり、いずれも大気中に漏えいすると多大な環境影響があります。

コープこうべでは、指定フロン使用機

器に関し、**2020年を目途に代替フロン使用機器への入れ替えをすすめています**。また、フロンガスの漏えい防止のため、年4回以上の点検を実施。あわせて、フロンガスを使用しない**ノンフロンの冷蔵冷凍機器**を、新設の協同購入センター西神戸に導入しました。

指定フロン
オゾン層破壊
影響あり

代替フロン
オゾン層破壊
影響なし・
温暖化影響大

ノンフロン冷媒(CO₂など)
オゾン層破壊
影響なし・
温暖化影響小

電気自動車の導入

住吉事務所と協同学苑に電気自動車計5台を導入しました。走行中のCO₂排出量が低くだけでなく、災害時には非常用の電源として使用することも可能です。



電気自動車と充電スタンド

エネルギー学習の取り組み

組合員と共に地球温暖化やエネルギー問題などの「コンセントの向こう側」にある社会的課題を考える学習会を始め、省エネ学習、子ども向けイベント、太陽光発電施設の見学などを2016年度



は48回開催し、のべ1,068人が参加しました。そのなかで、エネルギーの生産現場を学ぶため、9月26日に奈良県東吉野にある小水力発電施設の見学会(写真)や、11月16日には学習会「私たちの電気を選ぼう」(講師:NPO法人気候ネットワーク豊田陽介氏)などを開催しました。

プチエネ学習キット

「再生可能エネルギーとはどういったもの?」「家電の省エネのコツは?」身近なものからエネルギーの最初の一步を楽しく体験できる学習教材を作成しました。

